

調査するということ

飛田 努

調査するということ

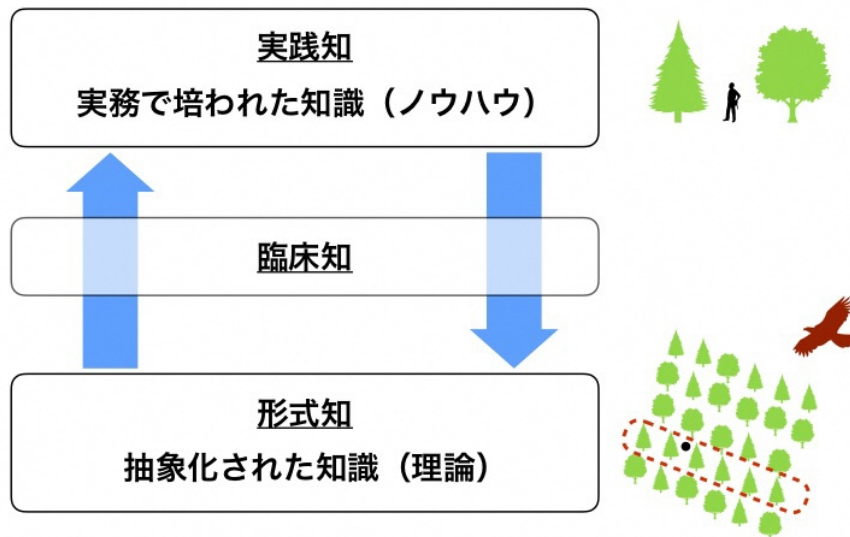
- 調査ってなぜするのでしょうか？
 - ① 他の商店街や商店がどのようなことをしているのかを学ぶ。
→ 他者の**実践**という**知識**を得る。
 - ② 実践を通じて、自ら（自分が所属する商店街や商店）のあり様を知る。
→ 比較を通じて自分の**実践**を把握する。

ノウハウを**共有**することで終わってしまう可能性



ノウハウは**移転可能**かを検証する必要性

知識のメタ化（抽象化）にトライ



形式知の例

- 企業の基本戦略は3つ (M.Porter)
 - ① 差別化戦略
 - ② コスト・リーダーシップ戦略
 - ③ 集中戦略
- マーケティングにおける売り手側の4つの視点 (P.Kotler)
 - ① Product (製品・サービス)
 - ② Price (価格)
 - ③ Promotion (広告・宣伝)
 - ④ Place (立地・チャネル)

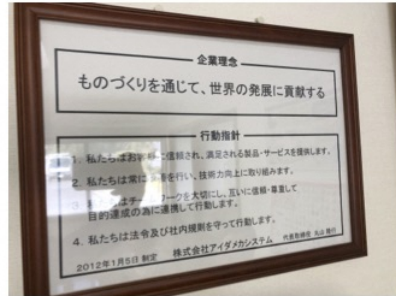
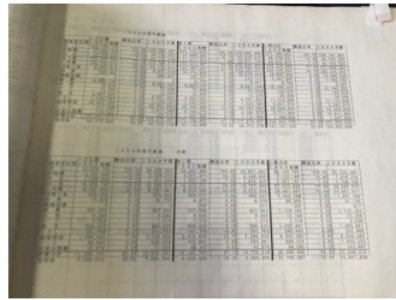


特に経営学における**形式知**とは
実務における**実践**を**抽象化**して**体系化**したもの

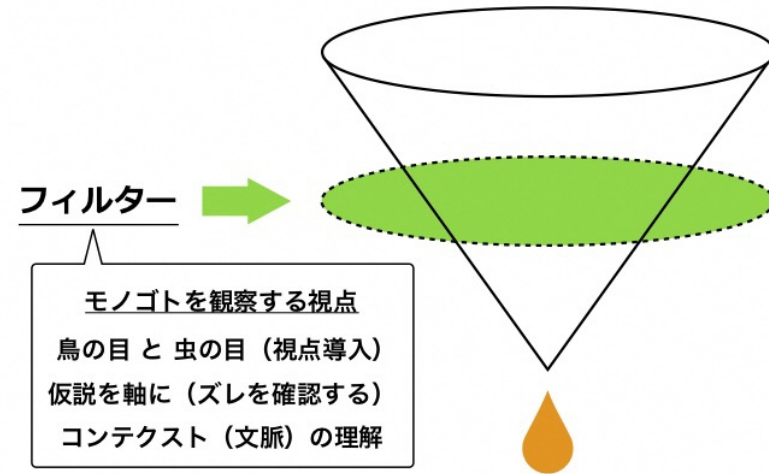
三角形の合同条件は3つ…

じゃ、どうやって体系化するの？

- 抽象化するために調査します。
 - アンケート（サーベイ）調査
 - インタビュー調査
 - 参与観察
 - 文献調査



じゃ、どうやって体系化するの？

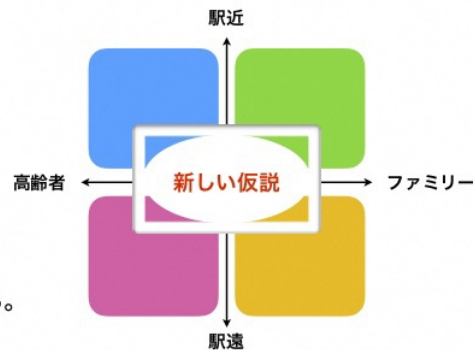


じゃ、どうやって体系化するの？

- **考える軸**を持ちましょう。
 - 長所・短所
 - 自分の商店街・商店との類似点と相違点
 - タイプ：駅近、住宅街（新興 / 団地 / 高齢者多い etc.）

何か違う**切り口**が必要になってきそうだな…

- よくある方法
マトリックスで考えてみる。
→ タイプ分けをすることで
共通点・相違点が見えやすくなる。
- わかりきったことでも**図にして整理すると見えてくる**ことがある。

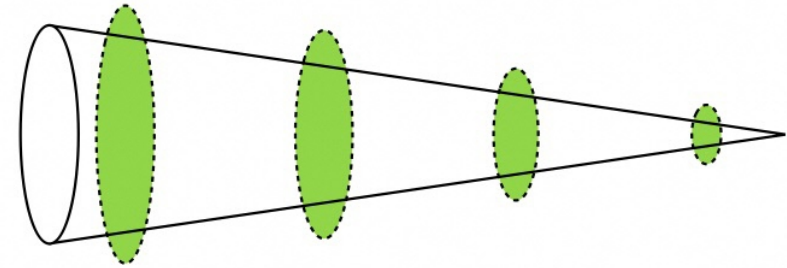


じゃ、どうやって体系化するの？



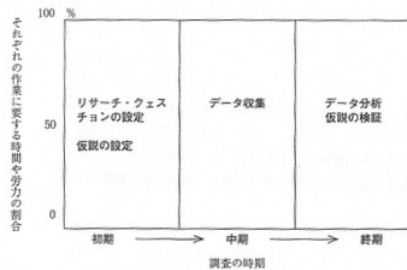
今日はここまでできたらGood!

→ 仮説 → 検証 → 仮説 → 検証 → 仮説 → 検証 → 仮説 →

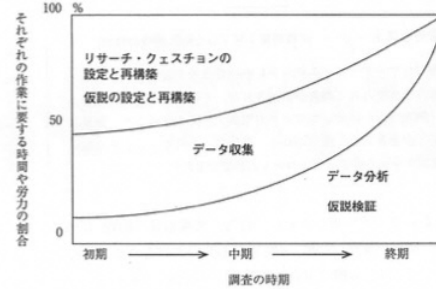


調査の進行プロセス

よくある研究の進め方



良い研究の進め方



仮説の再構築

→ 観察と検証を日々繰り返す

参考文献

